

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスやまびこ			
○保護者評価実施期間	2025 年 3 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数)	16
○従業者評価実施期間	2025 年 3 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025 年 4 月 2 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	常勤児童指導員2名、非常勤児童指導員2名で支援体制を確保しており、手厚い支援が出来ていることを評価頂いている。個々人のスキルアップを継続的に図ることにより良い支援を実施することができると考えている。	定期的な内部研修や外部研修への参加を促しながら参加することで、支援員の知識とスキルを向上することが出来ている。	利用児童には自分で出来ることはしてもらうように支援している。支援員は見守るようにしており、出来ないことを諦めるのではなく、出来るようになるために考えて利用者の能力が向上するための取り組みを継続していく。
2	祝日や長期休みの際には水族館や科学館などへ出かけることで集団行動や体験することの楽しさを感じてもらっている。	学校生活では体験することが出来ない少人数での集団行動や利用体験・見学体験などを通じて関係づくりやルールへの遵守などを伝えている。	年長者が引率をできるように支援員が促すことで利用者間の関係性の構築や施設でのルールなど経験を通じて学べるような支援を実施していく。
3	SNS（Instagram）を活用して利用時の様子や活動内容を写真とともに保護者へ伝えるようにしている。	事業所で具体的にどのような活動をしているのかをSNSを通じて毎日発信している。利用児童の保護者も内容がわかるように写真と活動内容を端的に公開している。	活動内容についてアンケートの情報から事業所での活動内容に反映できるように職員全員で考えて取り組んでみることも検討していきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会や父母会の開催が出来ていない。	新型コロナウイルスの感染拡大等で保護者会や父母会の開催が出来ていない。	令和7年度は保護者会を開催する予定にしている。 第1回開催日：2025年6月11日（水） 具体的内容は決まっていないが、開催後にアンケートを実施して内容を成熟させていく。
2	事業所の所在地がビルの2階で事業所の入り口に上がる階段が急で危険を伴う。	階段のバリアフリー化は困難なため、転落防止策として利用児童が先に上がってもらい、職員は後ろから上がるようにしている。 雨の日や荷物が多くて両手がふさがっている時はエレベーターを利用するようにしている。(通常時はエレベーターは利用しないようにしている。)	階段の上り・下り時は危険を伴うので手すりにつかまって上り・下りをするようにしているが、階段に滑り止めのシートを貼ることを検討している。
3	放課後児童クラブや児童館との交流・障害のない子どもと交流する機会がほとんどない。	障害のない子どもと交流する機会を模索できていない。地域の学童や放課後児童クラブと交流するために必要な事を考えていく必要がある。	実際の交流することが可能なのか事前に確認してみる行動が必要であると考えている。 交流が可能な場合はどのようなことが出来るのかと一緒に考えてみることも必要。